

第 27 回 日本災害医学会学術集会・総会

タイトル

兵庫県災害医療における、ロジスティック構築に向けた保健所での活動報告

背景

3 月以降の、第 4 波の新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、保健所での保健医療活動の需要が増大し、高齢者施設や療養型病院で多発するクラスターや患者急増の事態に対し兵庫県内の一部の保健所では十分にフォローできない場面が発生した。

これを受け、本県の災害医療におけるロジスティクス(後方支援)の構築を目的に兵庫県医務課依頼のもと、兵庫県ロジスティック作業部会として東播磨県民局加古川健康福祉事務所(以下、加古川保健所)の後方支援活動に取り組んだので報告する。

方法

活動期間:2021 年 5 月 13 日から 6 月 7 日

活動内容:加古川保健所におけるリエゾン業務

結果

加古川保健所の職員不足に対して派遣された職員への対応・クラスター施設への対応・往診体制・疫学調査・クラスター発生施設職員のこころのケアに関する対応において課題がみえた。これらの課題に対して医務課、県・市医師会との連携や使用可能なソースや他の保健所での対応方法について情報提供を行った。

結語

活動を通じて保健所業務の軽減や防ぎ得る感染の抑止に繋げることができたのではないかと考える。また、活動の中で第5波への課題も明らかになった。